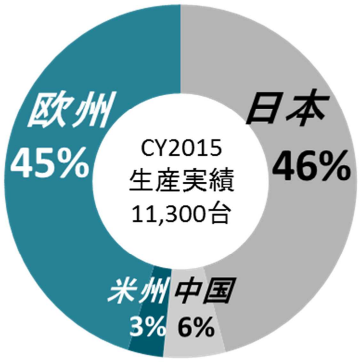
投資家の皆様へ

7/25(月)日経産業新聞朝刊(1,17,19面)に掲載されたマーケットシェアの記事につきまして、質問を頂いております。
本資料はそのQ&Aを纏めたものです。

Q：日経マーケットシェアの推移について？
A：日経マーケットシェアは、経済産業省の統計によるマシニングセンタ、ターニングセンタの国内生産金額に対する個別企業の生産金額をヒアリングにより集計したものと認識しております。経済産業省統計による CY2015 の生産金額はマシニングセンタが 5,311 億円、ターニングセンタが 2,713 億円、両機械併せた生産金額は 8,024 億円でした。

当社の生産は、ドイツの連結対象会社 AG を含めて、CY2015 は 11,300 台、売価換算ベースでの生産金額は3,300億円程度に達しており日経の生産シェア認識とは大きく乖離しております。当社の生産額には、海外生産を含めており、経済産業省の国内生産統計とそれに基づく日経国内生産シェアとは単純には比較することはできませんが、グループ生産金額の規模が圧倒的に大きいことが分かります。図１に当社の地域別生産比率を掲載しております。需要地生産、最適地生産を進めており、国内生産にとらわれず、グループ及びグローバルでの生産能力、実際の生産台数・金額を評価することが必要だと考えております。

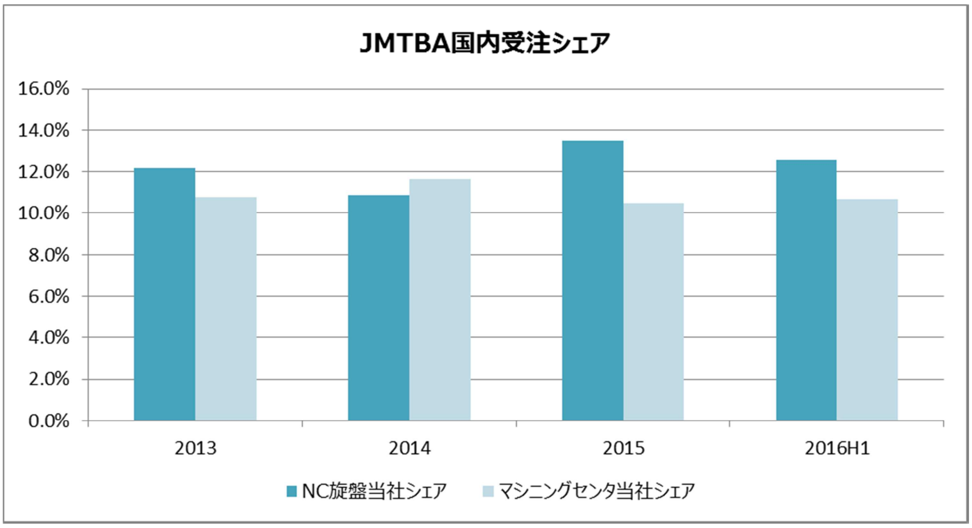
図１ ：AG 含む連結地域別生産台数



また、国内における市場シェアとしては、受注金額シェアが重要であると考えておりますが、当社としては、大きな異動はないと考えております。受注金額シェアに関しては、日本工作機械工業会の統計をベースとするのが適切であると考えており、マシニングセンタにおける当社のシェアは、CY2014 の 11.7%から、CY2015 は 10.5%と政府の補助金の影響もあり若干低下しましたが、CY2016 上期は 10.7%と若干上昇しております。(複合)ターニングセンタにおける当社のシェアは、CY2014 の 10.9%から、CY2015 年は 13.5%と大きく向上し、CY2016 年上期は 12.6%と若干の調整に留まっております。
国内マシニングセンタ市場においては、ドイツの連結対象会社 DMG MORI AG(以下 AG)の５軸加工機が漸次浸透してきており、今後は国内マシニングセンタ市場における当社のプレゼンスは益々高まって行くものと期待しています。また、国内においても、他の先進国及び中国と同様に、当社が先行している Human Machine Interface、すなわち当社独自に開発したハードウエアとしてのエルゴラインや CELOS を上位ソフトとする MAPPS 及び各種組み込みソフトにより、

お客様の価値向上に大きく貢献し、これらの施策が好評を得ております。特に、お客様の加工をサポートするテクノロジーサイクルの投入は、当社の高付加価値機種の受注拡大に拍車をかけ、当社のシェアが向上して行くものと確信しています。

図２：国内機種別シェア推移



以上